

市議会だより

3月定例会



中央公民館での意見交換会の様子

主な掲載内容

- ◎第11回議会報告及び市民との意見交換会……………2
- ◎一般質問 ……………3～10
- ◎3月定例会の主な議案審議内容……………11
- ◎議決結果一覧……………12

QRコードをスマートフォン等で読み取って活用してください。



市議会
ホームページ

第11回 議会報告及び市民との意見交換会を開催

宜野湾市議会基本条例(平成28年7月1日施行)に基づき、5月9日(土)、10日(日)に「議会報告及び市民との意見交換会」を開催しました。市議会で審査した議案等を議会活動として報告するとともに、市民の声を市政に反映させることなどを目的に開催し、市民が意見を言いやすいように昨年度に引き続き2回目となるグループワークを導入し、小グループに分かれ、市政や市民生活に関し意見を交わしました。また、インターネットやアンケートによる意見募集も並行して実施し、多くの貴重な御意見をいただきました。

開催日時	会場	参加人数
5月9日(土) 14:00~16:00	はごろも小学校 地域連携室	17人
5月10日(日) 14:00~16:00	中央公民館 2階集会場	44人
合計		61人



はごろも小学校での意見交換会の様子

市議会に寄せられた意見（一部抜粋）

- 交通標識や名所案内の道路標識があまりに古くてほぼ読めないものがとても多いです。新しい標識へと取り替えていただきたいです。
- 伝統芸能を宜野湾市の方が子供たちに教授する形も含めて取り入れてほしい。
- 自治会の必要性をもっと訴え、自治会の宣伝をしてほしい。
- マイナンバーやICTを活用して申請業務を簡素化する仕組みを作ってほしい。
- 防災行政無線を日常的に使っているが、それが聞こえないという声が多く、整備をしていただきたい。
- 今のバスはとても待つ大変です。お年寄りのためにコミュニティバスがぜひ必要だと思っています。
- 給食費無償化を公立学校だけでなく私立学校にも適用してほしい。
- どの地域でも空き家は結構たくさんあると思うので、どういう空き家があるのか調査してほしい。
- 介護認定に関し、ちょっと時間がかかりすぎているのではないか。

3月定例会

「令和7年度 宜野湾市一般会計補正予算(第7号)を全会一致で可決」

第471回宜野湾市議会定例会は、2月26日から3月26日までの29日間の会期で開かれました。

今定例会は、令和8年度宜野湾市一般会計予算を含む52件にわたる議案等が審議され、23名の議員による一般質問も行われました。

主な議案

- 令和8年度宜野湾市一般会計予算
- 令和8年度宜野湾市国民健康保険特別会計予算
- 令和8年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計予算

※12ページをご参照ください。

議事日程・議決結果等の詳細はこちら



一般質問

今定例会は、23名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。

市の様々な課題等について、議員が提言も含めて市に考えを聞く『一般質問』。各議員それぞれの切り口で市政を問います。



議会中継はこちらから



議会会議録はこちらから



各議員の記事から一般質問の録画映像がご覧いただけます。(スマートフォン等で読み取りください。)

【まちづくり】 大山地区土地区画整理事業について

その他の
主な質問

◎建設事業が複数重なることによる財政負担について
◎観光・リゾート産業の振興について

◎議員 令和七年度最終補正において繰越された大山地区土地区画整理事業委託料六千七百七十二万五千円の繰越事業と、令和八年度当初予算に計上された二億千七十万九千円の事業について、それぞれの事業内容とスケジュールを伺う。また、両事業が同時に進行可能であるか、繰越しが続くことにより事業の遅れが生じないか伺う。

◎建設部長 令和七年度業務は、主に区画整理設計及び基本計画の策定について繰越し、令和八年九月末の業務完了を予定している。令和八年度業務は、地質調査及び地区境界測量について、繰越事業の完了を待たず、早期に発注手続を進め取り組む。

◎議員 大山地区画整理事業は、半世紀以上にわたり地権者の皆様が待ち続けている事業である。令和九年度の事業認可および事業化ができる事を期待しているがいかがか。

◎建設部長 引き続き、令和九年度末の事業認可に向け鋭意取り組んでまいります。

◎議員 説明会での相続対策周知や予定の早期提示、地権者の学習支援も提言する。



絆輝クラブ
石川 慶 議員



【基地】 普天間飛行場の返還について

その他の
主な質問

◎大山地区土地区画整理事業の進捗について
◎市民への物価高騰対策の取組について

◎議員 今年二月に各種メディアから「普天間返還せず」とのトップニュースを見聞きました。SACO最終報告では五年ないし七年以内に返還合意したが、大幅に遅延し、三十年たった現在も目途が立っていない。返還のための唯一の選択肢として県民の意思を踏みにじり辺野古新基地建設を強行している。新基地は軟弱地盤のため工事は難航必至で、完成は見込めない。新基地が完成しても滑走路の短さを理由に普天間飛行場は返還されないと、米国防総省が公式文書に明記している。あつてはならない普天間飛行場の固定化になるのではないか。

◎市長 三十年の月日は、非常に長い年月で極めて遺憾である。市民が不安を感じないよう政府に強く、しっかりと返還期日が見せる行動をしていく。

◎議員 市長が先頭に立って「固定化は許さない」と意思表示を掲げて、市民大会を開いてはどうか。

◎基地政策部長 市民大会の開催は現在、予定していない。



マブイ
宮城 優 議員



【教育】フッ化物洗口事業の進捗について



政進会
山城 康弘 議員



◎議員 事業導入の経緯及び目的を伺う。

◎指導部長 本県は、児童の虫歯割合が継続して全国で最も高い水準にあり大変深刻な状況である。また、本市も同様の課題が見られるため、虫歯の予防と児童の歯の健康保持を図るとともに、家庭環境や経済状況に左右されることなく、全ての児童に等しく予防の機会を提供することを目的として、本事業を実施している。

◎議員 現在、大謝名小学校、志真志小学校で実施しているが、教育の平等の観点からもスピード感を持って実施校を九校に増やすべきである。今後の計画について伺う。

◎指導部長 本事業の今後の展開については、学校現場の負担軽減や安心して実施できる体制の確保を図りながら、段階的に実施校の拡大を進めてまいりたい。

◎議員 子ども達の歯の健康を守ることは、将来にわたって食生活や脳への影響など、健康維持につながる長期的な政策である。ぜひとも児童が健康な体でいられる環境を作ってもらいたい。

その他の主な質問

◎普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還及び速やかな運用停止の実現並びに基地跡地利用の推進について

【基地】基地問題への対応について



和みクラブ
上里 広幸 議員



◎議員 令和七年度二月末時点の基地被害

一〇番への苦情が千十二件に上り、学校では入学式や授業の中断、保育施設でも行事が中断されるなど普天間飛行場から派生している騒音被害は増加しており、市民生活への影響が深刻である。学校や保育施設の被害実態を継続的に集約し、基地被害の実態把握を強化すべきだが、いかがか。

◎基地政策部長 学校や保育施設の全体的な実態把握には至っていない。担当部署と連携し実態把握と苦情の集約を検討する。

◎議員 住宅防音工事対象区域外や被害地域も含め、対象区域の拡大を国に強く求めるべきであるが、市の見解を伺う。

◎基地政策部長 住宅防音工事対象区域外の市民からも苦情が多く寄せられている。政府に対し、対象区域の拡大及び築年数要件の拡充、認可保育施設への補助対象の拡充を要請している。引き続き住宅防音工事の要件拡充に向けて取り組んでまいる。

◎議員 目に見える改善に向け、抗議要請活動を強化すべきである。

その他の主な質問

◎民間地における排水機能の阻害と冠水被害への行政対応について
◎地域伝統芸能活動の環境整備及び公共施設活用について

【福祉】産前・産後ケアについて



政進会
又吉 亮 議員



◎議員 産前妊婦さんに対して、どのような妊婦支援をしているのか伺う。

◎こども部長 面談、妊娠八カ月アンケート、電話や来所による相談対応、家庭訪問、母子健康相談、両親学級等を行っている。

◎議員 産後ケア事業はサービスクラス拡充されたが、どのような利用状況となったか伺う。

◎こども部長 利用状況は令和三年度が宿泊型十七人、デイサービスクラス型二十一人であり、令和六年度が宿泊型二百八十人、デイサービスクラス型六百七十七人と増加している。

◎議員 産前の妊婦へのケア拡充と産後ケア事業の予約が取りづらい状況を解決するために、バースドゥーラの存在が必要だと考える。ドゥーラが産前から寄り添い、産前の悩みから産後のケアまで行うバースドゥーラが必要ではないか見解を伺う。

◎こども部長 バースドゥーラについては、産前ケアの拡充や予約がとりづらい産後ケアの補完の一つになり得ると考える。

◎議員 バースドゥーラをいかに本市で導入できるか、一緒に考えていきたい。

その他の主な質問

◎市債管理基金について
◎公立幼稚園の設置遊具について
◎フリースクールについて
◎高齢者虐待について

【地域】 オートバイの試乗用ナンバープレートについて



共生の会
知念 秀明 議員



◎議員 オートバイの試乗用ナンバープレート(試乗標識)の内容を伺う。

◎総務部長 試乗標識は、原動機付自転車などの販売業者等で、試乗や店舗間で回送する際に一時的に取り付けて使用する特殊な標識である。特徴は、一枚の標識で複数の車両に付け替えて使用できる点である。

◎議員 導入の目的と効果について伺う。

◎総務部長 効果として、販売業者等が煩雑な手続に時間を取られず、より円滑に販売活動に専念できる環境が整う点や市役所窓口における事務の簡素化により、行政運営の効率化も同時に図られると考えている。

◎議員 条例改正の概要を伺う。

◎総務部長 試乗標識の交付対象を市内の製造、修理、販売業者として、交付枚数は一事業業者に二枚以内、有効期限は、毎年八月一日から翌年七月三十一日までの一年とし、期間満了時等に返納を義務づけている。

◎議員 市内の販売業者を全店舗訪問し、署名も集めた。事業者は待ち望んでいたので周知徹底をぜひよろしく願いたい。

その他の主な質問

- ◎小中学校の夏休み明けの(仮称)ゆったりスタート期間について
- ◎学校給食の牛乳の選択制について

【福祉】 介護予防事業の充実に向けた取組について



和みクラブ
伊佐 哲雄 議員



◎議員 生きがい対応型サービス事業の現状等について伺う。

◎健康推進部長 現在、県営愛知高層団地自治会を含む二十四の自治会で実施され、令和六年度の利用登録者数は五百二十人で、延べ一万七千二百三十人が利用している。

◎議員 一般介護予防事業の通いの場、いきいき百歳体操の現状について伺う。

◎健康推進部長 令和七年度に新たに四か所立ち上げており、現在、市内の十九か所に設置され、令和六年度には、二百四十七人が利用している。

◎議員 介護予防の効果を上げるための取組を伺う。

◎健康推進部長 生活支援コーディネーターが地域のニーズを聞き取り、通いの場を新たに立ち上げる際は、準備段階からサポートを行っている。今後、通いの場の量と質の充実を図り、多くの高齢者が参加しやすい環境づくりに取組んでまいりたい。

◎議員 気軽に参加できる環境を整えて、介護予防効果を上げる取組をお願いしたい。

その他の主な質問

- ◎普天間飛行場返還促進対策事業について
- ◎自治会加入促進事業について

【地域】 学習等供用施設の建て替えについて



絆輝クラブ
平安座 武志 議員



◎議員 現在進めている防衛補助を活用した第三期統合事業の内容を伺う。

◎企画部長 第三期防衛施設周辺整備統合事業は、令和七年度より事業が開始し、事業終了年度が令和十一年度までの五年間の事業である。また、国庫補助費については、第二期の統合事業から十億円増額の二十億円となっている。

◎議員 以前から、現在進められている事業に真栄原区学習等供用施設の建て替えを追加していただきたい旨を要望しているが、改めて見解を伺う。

◎企画部長 現在四か所の公園、三か所のコミュニティ供用施設建設事業を実施してまいりたいと考えているが、議員からのご要望や地域からの声も受けているので、本市としては現在進めている第三期統合事業への事業追加を、補助元である国と調整を行っているところである。

◎議員 前向きな回答と受け止める。真栄原区学習等供用施設の建て替えに向けて、しっかりと交渉していただきたい。

その他の主な質問

- ◎普天間飛行場周辺まちづくり事業(真栄原地区)について
- ◎下水道管路の全国特別重点調査について

【安全】市内道路整備等について



結・市民ネットワーク
宮城 政司 議員



◎議員 以前から要望していた信号機の設置について、市道宜野湾十一号、佐真下公園前交差点の矢印信号機、そして国道三三〇号の中部商業高校前の信号機の設置状況を伺う。

◎市民経済部長 警察署へ確認したところ、国道三三〇号、中部商業高校前交差点の右折矢印信号機及び我如古から長田向け車線の歩行者信号機は、本年三月十六日から運用を開始した。市道宜野湾十一号佐真下公園前交差点の右折矢印信号機は、三月十八日から運用を開始したとの報告があった。

◎議員 事故のないスムーズな交通が実現できるように願っている。また、市道宜野湾十一号の冠水対策の進捗状況と基地内の工事が終われば排水機能が向上するか伺う。

◎上下水道局長 令和七年度完成予定だったが米軍との調整に時間がかかり、令和八年五月末に工事完了を予定している。令和八年九月末の全区間の整備完了後は、排水機能が向上し道路冠水は改善すると考える。

◎議員 継続して進めていただきたい。

その他の主な質問

- ◎ラーケーションの取組について
- ◎基地行政について
- ◎高齢者福祉について

【健康】国民健康保険財政健全化への取組について



絆輝クラブ
伊佐 文貴 議員



◎議員 過去十一年間の国保の累積赤字に充てられた法定外繰入金総額を伺う。

◎健康推進部長 平成二十六年度から令和六年度までの総額は約五十九億円である。

◎議員 累積赤字の見直しはどのようになっているのか伺う。

◎健康推進部長 一般会計からの法定外繰入れ等により、令和六年度に解消している。

◎議員 医療費の増大、被保険者減少、歳入も少なく歳出は増えていく現状であり、今後は特定健診、保健指導以外にも市民に更に健康意識を高めていただきたい。ぜひわん健康プロジェクトの事業内容を伺う。

◎健康推進部長 本年四月一日より、健康行動に対するポイントの付与を開始する。

◎議員 インセンティブがあれば参加しやすいと思うが、アプリの目標登録数を伺う。

◎企画部長 五年後には四千名の登録を目指している。

◎議員 国保税納付書に登録用QRコードを入れるなどの取組を行っていただきたい。この事業がうまくいくよう注視したい。

その他の主な質問

- ◎大山地区土地区画整理事業について
- ◎うなばら保育所閉所に伴う影響について

【まちづくり】火葬場建設について



絆輝クラブ
濱元 朝晴 議員



◎議員 火葬場建設に向けて取り組んでいるが、早期建設に向けての状況を伺う。

◎企画部長 令和七年度末から令和八年度にかけて用地取得を進め、その後令和九年度から本体工事を行い、令和十年の供用開始を目指している。

◎議員 沖縄市池原の倉敷ダム近くで進めている新たな火葬場建設について、沖縄市登川の農研センターで住民説明会を開き参加した三十名からは池原軽視だ、計画に反対するとの意見が相次いだとの報道があったが、その後の状況がどのようになっているか伺う。

◎企画部長 火葬場建設については、地元の皆様の御理解が大変重要であると考えており、引き続き事業主体である沖縄市を中心に、地元の皆様へ丁寧に対応していきたいと考えている。

◎議員 調整は容易ではないかと推測するが、市民の安心を守る最後のとりでとして、着実に財源を確保し、引き続き最大限の努力を尽くしていただきたい。

その他の主な質問

- ◎西海岸地域の道路整備について
- ◎浦添北道路の進捗状況について
- ◎住宅密集地と空き家対策について

【上下水道】PFASに関する本市の対応について



風のー一の
立憲・社民
座間味 万佳 議員



◎議員 令和八年一月と二月に伊佐、大山の下水道マンホールから泡が噴き出す事象が発生したが、過去十年間の採水事例数とその結果について伺う。

◎上下水道局長 過去十年間の泡漏出は今回を含め計六回で、その都度採水し水質検査を行っており、PFAS等の濃度は全て環境省の定める指針値以下である。

◎議員 普天間飛行場からの排水と住宅地の排水が合流する当該マンホールより上部の住宅地区の排水のみの調査の実施を伺う。

◎上下水道局長 上流部の排水に関する水質調査は、今回の泡漏水時も過去にも実施していない。

◎議員 近隣住民は不安を抱え、市の対応に納得していない声もある。原因が市内なら再発防止策を、基地内なら立入り要請を行うなど、原因究明が不安解消には不可欠だ。県外では遡及調査で特定した事例もあるため、市内で可能な流入経路の確認を行うべきだ。市民の不安解消と安全確保のため、原因特定の遡及調査を実施してほしい。

その他の主な質問

- ◎本市の女性に対する政策について
- ◎施政方針の「ひとり親家庭の生活の向上と安定」について
- ◎防災における支援策について

【地域】宜野湾地区学習等供用施設(旧宜野湾区公民館)の建て替えについて



絆輝クラブ
宮城 克 議員



◎議員 築四十年以上の老朽化した施設が多く存在しており、今回、約十八億円の防衛施設周辺整備統合事業を活用し、宜野湾区、野嵩一区、普天間三区自治会の公民館建て替えを進めることとなった。三か所の建て替え計画に当たり、現在の老朽化の安全性をどのように認識しているのか伺う。

◎市民経済部長 第三期統合事業により建て替え計画を進めている三か所の施設は、築年数が四十年以上経過し、議員がおっしゃるように外壁及び内壁のひび割れ等が確認され、一部ではコンクリートの剥離も見受けられるほか、雨漏りやドアの開閉の不具合等も発生しており、老朽化が進行している。加えて旧耐震基準で建てられた施設のため、震度六以上の地震で倒壊するリスクが高い状況にある。

◎議員 多くの公民館が老朽化し、建て替えを行いたいと思うので、担当課での手厚い支援、サポートをお願いする。

◎市民経済部長 丁寧な相談体制、助言、情報共有など必要な支援に努めてまいります。

その他の主な質問

- ◎公私連携携幼保連携型認定こども園の運営(実施・準備)状況について
- ◎空き家対策における危険性の除去について

【選挙】令和8年2月8日執行の衆議院議員総選挙について



マブイ
プリティ
宮城 ちえ 議員



◎議員 地方自治体は、国の下請ではない。国と対等な立場として、現場で起きた問題を国へ伝える責任がある。世界の民主主義国と比較しても日本の選挙期間是非常に短いと指摘されている。自治体として今回の選挙執行の国への制度改善を求める必要があると考えるが、見解を伺う。

◎選挙管理委員長 解散から選挙期日までの期間が短かったことにより、有権者にとっても様々な影響があったかと思われる。選挙制度については、全国市区選挙管理委員会連合会で議論されている内容も含めて、国のほうで適切に検討されるものと考えている。

◎議員 今回の選挙は、自治体の現場に過剰な負担を与え、有権者の熟慮の時間も極めて短いまま実行され、選挙を支えた方から、あまりにも準備時間が短くて死ぬかと思ったという声も聞かれた。選挙は政治家のものではなく、主権者のものだということを認識し、必要な制度改善を国へ求めていくことが重要であると考える。

その他の主な質問

- ◎PFAS汚染から市民の健康と生活を守るための施策について
- ◎西海岸地域の学校における防災教育等について

【まちづくり】西海岸地域のランドデザイン検討調査について



政進会
上地 安之 議員



◎議員 本市の西海岸地域は、将来を左右する開発ポテンシャルを有し、県の新・沖縄二十一世紀ビジョン基本計画においても世界水準の都市型オーシャンフロント・リゾート地として位置づけられているが、計画体系の位置づけを伺う。

◎企画部長 普天間飛行場跡地の機能検討等を行うGW2050PROJECTSが二〇五〇年を見据えていることを踏まえ、それに先駆けて本市西海岸地域を再構築することを目標としており、その実現に向けた指針として策定するものである。

◎議員 令和八年度には新たな基本計画を予定しているが、方針と今後の計画を伺う。

◎企画部長 グランドデザインを成案として関連事業の実現化方策と目標年度までのロードマップを取りまとめたい。

◎議員 今後の進め方について伺う。

◎企画部長 グランドデザイン素案、令和八年度の成案、令和九年度以降には交付金を活用しながら開発を進めていけるよう検討してまいります。

その他の主な質問

- ◎自治体フロントヤード改革モデルプロジェクト事業について
- ◎PFI事業について

【福祉】高齢者が孤立せずに暮らせる体制づくりについて



公明党
伊波 一男 議員



◎議員 警察庁が二〇二五年四月に発表した日本の高齢者における孤独死、孤立死の年間集計において二〇二四年に自宅で亡くなった方は七万六千二十人、六十五歳以上の高齢者は五万八千四十四人で全体の七六・四%を占めている。本県でも二〇二四年の孤独死・孤立死は八百二十五人で孤独死のうち六十五歳以上は約七四%、六百十人と新聞報道がある。高齢者の実態を伺う。

◎健康推進部長 令和七年度三月末時点で六十五歳から七十四歳の方が一万七百四十二人、七十五歳以上は二万六百人である。六十五歳以上の独居世帯数は七千五百三十世帯であり、六十五歳以上の高齢者のみの世帯数は三千八百十三世帯である。

◎議員 高齢者は様々な問題を抱えている。ニーズを施策にするには、在宅高齢者実態調査を行うことが必要と考えるがいかがか。

◎健康推進部長 調査は見守り体制の構築に資する手法の一つであり、一定の意義があるものと認識している。高齢者の見守りについて総合的に調査研究してまいりたい。

その他の主な質問

- ◎姉妹都市「岩国市」とのスポーツ少年交流について
- ◎市産品の新製品拡充に対する支援方について

【こども】放課後児童クラブの公募の在り方について



共生の会
額井 拓磨 議員



◎議員 放課後児童クラブへの応募時点で物件確保の証明を求める方式は、事業者に財政負担が生じる。公募方法についての見解を伺う。

◎こども部長 安心・安全な事業実施場所の確保をしているかについての確認は必要であると考えている。応募事業者の負担が生じないような手法が可能であるかなど、公募方法を改めて検討してまいりたい。

◎議員 放課後児童クラブの公募では、運営実績を要件としているが、新規参入を希望する事業者にとって参入障壁になっていると考える。市の見解を伺う。

◎こども部長 待機児童が発生している状況を踏まえ、令和八年四月から開所、安定した運営ができるよう、事業実績等を応募要件としている。新規参入については他市町村や関係団体より情報収集を行い、公募方法などを含め検討してまいりたい。

◎議員 市内事業者や新規参入を促進し、待機児童解消につながる公募制度となるよう、見直しを求めたい。

その他の主な質問

- ◎共有不動産の固定資産税納付について
- ◎重度訪問介護利用者の大学修学支援について

【防災】本市のフェーズフリーの推進について



公明党
岸本 一徳 議員



◎議員 アマチュア無線活用について伺う。

◎総務部長 アマチュア無線は、災害時の通信手段確保のための取組と認識している。令和四年度に市内の高速無線LANネットワークで市庁舎と避難所十三小中学校がIP電話にて通信可能となった。令和六年度においても、IP無線機二十台導入し、インターネット回線による通信とデジタル簡易無線通信が可能となった。衛星電話の導入やボランテアによるアマチュア無線の活用を今後検討してまいらる。

◎議員 衛星電話は高価だが、災害時に有効なため検討いただきたい。西宮市被災者支援システムの今後の導入について伺う。

◎福祉推進部長 地域福祉総合支援システムに災害発生後の被災者支援メニューは含まれていないため、防災危機管理室と連携し、必要な機能の充足を検討してまいらる。

◎総務部長 本市にはどのようなシステムが有効であるか検討してまいりたい。

◎議員 フェーズフリーの視点で平常時から万全に備えを構築することを要望する。

その他の主な質問

- ◎住宅セーフティネット法に基づく本市の居住支援協議会について
- ◎自治体フロントワード改革モデルプロジェクト事業について

【安全】道路行政について



絆輝クラブ
松田 朝仁 議員



◎議員 市民は、道路法が適用されていない里道や私道を通路路、生活道路として頻りに利用するが、ひび割れや陥没など危険な状況も見られる。修繕管理について伺う。

◎建設部長 里道を含むその他道路は、自治会や市民の要望により、路面補修等管理を行っている。私道では自治会に予算の範囲内で原材料の提供を行っており、本年度より私道整備補助金事業に取り組んでいる。

◎議員 我如古交差点歩道橋から下りて念法寺に向かう里道の危険箇所の修繕については自治会からも要請しているが、当該道路の安全対策について伺う。

◎指導部長 当該通学路においては、路面ひび割れや未舗装部分が未整備である状況を改めて確認している。今後、関係機関と協議の上、舗装の改善や安全対策の充実について検討を進めてまいらる。

◎議員 新一年生は保護者と手をつなぎ小さな冒険をしている。大人の目線と子供の低い位置からの目線は大きく違う。よい環境のもと登校できるように改善を求めらる。

その他の主な質問

- ◎分庁舎等整備事業について
- ◎公営墓地納骨堂の工事について
- ◎国費設置防犯カメラについて
- ◎不法投棄対策について

【まちづくり】高齢者外出支援のためのコミュニティバス「(仮称)はごろもバス」等の導入について



結・市民ネットワーク
屋良 千枝美 議員



◎議員 オンデマンド交通とコミュニティバスの特性や運行から得る効果について伺う。

◎建設部長 オンデマンド交通は利用者の予約に応じて運行する形態で、コミュニティバスは路線バスと同様に決められた時間とルートで運行する。高齢者や交通弱者の買物や通院など移動の支援、外出が増える事で心身の健康増進の効果が期待できる。

◎議員 新たな交通手段であるオンデマンド交通の導入に向けた計画と実証運行など交通サービスの在り方を伺う。

◎建設部長 令和八年度に嘉数地区を中心とした南地区でオンデマンド交通の実証運行を行う予定である。高齢化が進むなか、外出支援の重要性は認識しており、実証運行の効果検証を踏まえ支援を検討する。

◎市長 本年十月をめどに実証運行を開始し、市民が交通に不便を感じないよう実証実験結果を踏まえて将来的にどのような持っていくか考えていきたい。

◎議員 「はごろもバス」の名称を使い、計画がスムーズに進むことを願っている。

その他の主な質問

- ◎女性への差別に反対し地位向上を求める国際女性デーの重要性について

【福祉】 高齢者補聴器購入費助成制度について



絆輝クラブ
棚原 明 議員



その他の
主な質問

◎ キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区南側の返還と跡地について

◎ 議員 高齢者から「会話が聞こえにくい」との声を多く伺う。補聴器専門店から助成制度について「他市町村にはあるのに宜野湾市は何をしているの」と市民の不満の声があると聞く。聞こえの問題の認識を伺う。

◎ 健康推進部長 聞こえに不安を感じることで人との交流を避け、社会的孤立を招く懸念がある。重要な課題と捉えている。

◎ 議員 難聴がある人はない人に比べて認知機能低下が一・六倍多い。難聴が認知症の最大のリスク因子と報告がある。難聴と認知症の関係性をどう認識しているか伺う。

◎ 健康推進部長 関係性は文献等でも示されており、補聴器使用で認知症発症リスクを軽減できる可能性があると感じている。

◎ 議員 県内十五市町村が助成制度を実施しているが、本市は未実施。令和八年度は予算ゼロで「聞こえ相談月間」を実施し、令和九年度に助成制度を創設してはいかがか。

◎ 健康推進部長 令和八年度は情報発信を充実し、専門家と意見交換の場を設けたい。令和九年度以降、早期の事業化に努める。

【環境】 道路サポーターボランティア制度について



絆輝クラブ
知名 康司 議員



その他の
主な質問

◎ 特定健診受診率向上対策について
◎ 「こども向けイベントを実施した自治会へ補助金を交付する取り組み」について

◎ 議員 地域ボランティア活動「水と緑の愛護会」の目的と設立要件を伺う。

◎ 建設部長 宜野湾市水と緑の愛護活動実施要綱に基づき、市民が緑豊かな生活環境の形成を目指し、自発的に水と緑の保全や保護・育成が行えるよう、市民参加による活動の推進を図ることを目的としている。活動人数に規定はなく目的に賛同する団体は設立の届出をもって登録できる。

◎ 議員 登録団体数と人数について伺う。

◎ 建設部長 十四団体で、会員数は二百九十名である。

◎ 議員 どのような支援あるいは活動の助けを行っているのか伺う。

◎ 建設部長 活動人数や活動面積に応じて算出した活動助成金の交付、年二回の各団体に花の苗の配布、また活動者のけがに備えた団体傷害保険への加入を行っている。

◎ 議員 活動を充実したものとするために、各地域の愛護会が単体で活動するのではなく横の連携を取る必要があると考える。しっかりと呼びかけをやっていただきたい。

【安全】 市道長田2号と国道330号の交差点(マクドナルド宜野湾店付近)の交通安全対策について



じのーんの風
立憲・社民
我如古 盛英 議員



その他の
主な質問

◎ 普大間飛行場問題について
◎ 宜野湾市みどりの基本計画について

◎ 議員 当該道路の朝夕の交通渋滞は常態化し、危険な状態が続いているが、認識はあるのか伺う。

◎ 建設部長 朝夕の通行車両が多く渋滞が発生していることは認識している。

◎ 議員 障害物の電柱の移設によって幅員は改善できないか伺う。

◎ 建設部長 当該道路は狭間で交通量も多いが、他道路事業も多く、拡幅の事業化は難しい。電柱移設で渋滞改善できるかは電力会社等含めて調査してまいりたい。

◎ 議員 道路は国道三三〇号と接続部分で宜野湾側私道の坂道に対して十字路のようになっている。信号は国道側のみに設置されているが私道側にも信号増設は可能か。

◎ 市民経済部長 市道長田二号及び私道より国道三三〇号へ進入するための信号機を設置した場合、国道はその都度赤信号により慢性的な渋滞が発生することが懸念される。本市としては南部国道事務所とも情報を共有し、対策等情報交換してまいりたい。

◎ 議員 管理者と調整をお願いしたい。

三月定例会 主な議案審議内容

令和七年度 宜野湾市一般会計補正 予算(第七号)

可決

予算の主な内容は、補正額として三十八億九千七百七十五万九千円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ七百億七百二十二万とする内容である。

委員会審査においては、自治体フロントヤード改革モデルプロジェクト事業の実施検討について質疑がなされ、これに対し、名護市や石垣市との協定や委託事業者との契約後、令和八年度中に調査・研究を行い、実際に事業を実施するかどうかも含め検討していくとの答弁がなされた。

さらに委員からは、調査の具体的な内容や目指すべき改革の方向性など方針を明確にしていたいただきたいとの提言がなされた。

また、施設型給付等事業において人事院勧告に伴う公定価格改定による当該給付費支給の対応について質疑がなされ、これに対し、これまでは給付費の清算時である五月頃に支給していた人事院勧告に伴う改定分を、今年度は三月中に概算払いできるように調整を進めているとの答弁がなされた。

さらに委員からは、新たな取組について評価する一方、他自治体では国からの補助の前に、一般財源で負担することで速やかに改定分の支払いをしていることから、本市においても検討していただきたいとの提言がなされた。

本会議の表決に当たっては、全会一致をもって原案のとおり可決された。

宜野湾市犯罪被害者等支援条例の 制定について

可決

議案の主な内容は、犯罪被害者等基本法に基づき、本市の犯罪被害者等の支援等に関し、基本理念や責務等について基本となる事項を定め、地域の実情に応じた犯罪被害者等の支援を行うため、条例を制定するものである。

委員会審査においては、犯罪被害者等への支援方法について質疑がなされ、これに対し、犯罪被害者等が様々な窓口で同じ話をしないで済むよう、総合窓口を設置し、庁内関係機関と連携し、支援窓口の案内、一時的な住居の斡旋、雇用先への配慮の案内等となっているとの答弁がなされた。

また、他部署間の連携について質疑がなされ、これに対し、犯罪被害者等から聞き取りをする中で多重的な案件があれば、本人の意向を確認のうえ、庁内及び沖縄県犯罪被害者等支援窓口のゆいセンターと連携を行い、対応策、支援策を検討していくとの答弁がなされた。

本会議の表決に当たっては、全会一致をもって原案のとおり可決された。

SACCO合意から三十年、普天間 飛行場の一日も早い閉鎖・返還を 求める意見書及び決議案

可決

令和八年三月二十八日、四月二日、四月二十日、四月二十一日に議長及び議会運営委員会で沖縄防衛局、外務省沖縄事務所、沖縄米国総領事館、内閣府、外務省、防衛省、米国大使館を訪れ、意見書等を手交しました。

※要項事項のみ記載



内閣府



防衛省



外務省



外務省沖縄事務所

- 普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還と速やかな運用停止を実現すること。
- 普天間飛行場の返還期日を明確に示すこと。
- 普天間飛行場の返還が実現するまでの間、危険性の除去及び負担軽減を確実に実施すること。
- ジェット戦闘機をはじめとする外来機の飛来を禁止するとともに、在日米軍の任務遂行にかかわらず、騒音規制ができるよう「普天間飛行場における航空機騒音規制措置」を見直し、遵守すること。
- 日米地位協定を抜本的に改定すること。

意見書等の
詳しい
内容はこ
ちらから



